

がんばったね。お父さん。

広島県 三原市立糸崎小学校 四年

椿つばき
彩音あやね

救急隊員の人から電話が入りました。

「今、病院に向かっているのだから遅くしました。」突然電話が入ったのでびっくりしました。お父さんが仕事中にたおれて救急車で運ばれました。とても心配だったけど病院の先生の処置が良かったのでその時は治りました。

出張先でおられたので帰って来てから地元の病院で手術をする事になりました。家族みんなでお見舞いに行きました。

無事、手術が成功するのを祈ったかいあって成功してほっとしました。

心臓が悪かったので、わたしはお父さんに「健康のためにもうちょっとやせたら？」と言ったら、お父さんは、

「そうだね。がんばってやせてみるか。」と言っておなかをポックとたたいて笑っていました。最初は、続かないと思って

いたけれどみるみるやせていきました。最初は、続かないと思っ

たは、一食五百キロカロリーにせいげんして、なつとう、豆ふ、サラダ、サバのかんづめなど体に良さそうな物ばかり食

べていました。最初は、

「お腹すいた。すいた。」

「お腹が小さくなりました。」

「お腹が小さくなってきたのかなあ」

運動は、朝と夜に一時間ずつお家の回りを歩いたり、スパー

まで行って歩いたりしていました。わたしもたまに道の駅まで歩きに行ったり、公園までいっしょについていってあげました。いつも一人で歩いているので、いっしょについてあげた時は、とてもうれしそうにニヤニヤしていました。

そのかいあって、百キロこえていた体重も三十キロ近くやせて今ではとても健康的な体になりました。三倍ぐらいあったお腹がスリムになりました。今では、ふつうの食事にもどっているけど量は、少なくなっていると思います。食事のせい

げんと運動のせいがあるって今では、元気になって心臓の病気もよくなり毎日会社にかよっています。

ふだん口でははずかしくていえないので、父の日やおたん生日の前の日に、だれもない所でお手紙を書いてお父さんがお風呂に入っている間にだまってまくら元におきました。「いつもありがとう。お仕事がんばってね。」

と書いたら朝に、お父さんが

「お友達に手紙を書いていると思ったら、お父さんに書いてくれてたんだね。」

と、とてもうれしそうにしていました。ふだんなかなか言えないのでお手紙を書くことによつてかんしゃの気持ちも伝わったのでわたしもとてもうれしかったよ。病気もなおつてよかったね。お父さん。ありがとう。